

# 北上・十和田地区デントコーン試験圃のご紹介

先日9月17日にデントコーンの岩手試験圃（現地：岩手県玉山村）において東北事業部のセールスマン及び関係スタッフが集まり、現地検討会が行われました。また9月19日には十和田試験圃での中間生育調査が行われました。

圃場では実際に品種を確認し、あわせて各地域での生育状況の報告を確認しながら来年度の有望品種の選定を行いました。

簡単ではございますが、その状況および結果を下記の通りご紹介いたします。

## 岩手試験圃（岩手県玉山村）

品 種	初期生育	子 実	茎 葉	生 育 状 況
ニューデント100 (LG3457)	5	4	5	初期生育良好で、ボリューム感があり子実の稔実も良好。
ニューデント105 (LG2533)	4	5	4	草丈および着雌穂高は低めで子実多収。
スノーデント110 (DK567)	4	5	4	耐病性に優れ、年次変動少なく収量安定。
スノーデント114 (DK708)	5	5	5	初期生育に優れ、同クラスの中でも登熟が早く、大きな子実が特徴。
スノーデント118 (DKC61-24)	5	5	5	「セシリア」と同熟期で、茎葉と子実のバランスも良い多収タイプ。初期生育良好。
他社115	3	4	4	根腐れ発生。

岩手試験圃では、5月の中旬より早魃がつづきましたが、夏は最高気温が低く冷涼な時期が続きました。お盆以降は何とか温度が上がり生育も回復しましたが、特に中晩生品種は登熟は遅れ収穫適期も遅れた状況です。上記以外にも各試作系統の試験を行っていますが、既販売品種や試作系統ともに生育が良好でした。

## 十和田試験圃（青森県東北町）

品 種	ボリューム感	耐 病 性	耐倒伏性	生 育 状 況
ニューデント100 (LG3457)	5	4	5	長程でボリュームに優れる。
ニューデント105 (LG2533)	3	4	5	着雌穂高が低く、耐倒伏性極強。
スノーデント110 (DK567)	3	4	4	耐病性に優れ、安定多収。
スノーデント114 (DK708)	4	5	4	登熟が早く子実収量極多収。
スノーデント119 (DK652)	5	5	5	茎葉ボリュームクラスNo.1
他社115	4	5	2	草丈高いが、倒伏発生。

評価：ボリューム耐病性5段階評価 強・良5→4→3→2→1弱・不

十和田試験圃（東北町 北栄）では春先は早魃に見舞われ夏場には低温が続きました。近年に無い冷害で、昨年と比較し出穂期において10日ほどの遅れが確認されております。また、すす紋病の発生や先日の台風の被害も一部見られるなどデントコーンの栽培において非常に厳しい年となっております。

しかしながら、十和田試験圃につきましても当社ニュー・スノーデントは安定した成績となるのではと見ております。

今後の酪農経営につきましては多頭化に伴う糞尿量の増大という問題が一層深刻になると考えられます。

デントコーンサイレージは単位面積当たりのTDN収量が大きい事などが上げられますが、なんと言っても牧草と比較して糞尿利用がし易い点が最大の利点ではないでしょうか？

来年に向けデントコーンの品種選定についてお悩みの方は今年の試験結果等をご紹介しますので最寄りの営業所にお気軽にお問い合わせ下さい。  
**(十和田営業所 山崎)**

### 雪印種苗株式会社

編集発行人 城座 勝明

本社004-8531札幌市厚別区上野幌1条5丁目1番8号

TEL(011)891-5911

---

東北事業部

024-0004北上市村崎野14地割174-1

TEL(0197)66-2226  
FAX(0197)71-3307